



# BOOK 図書館だより

## 図書館・図書室の多くの方のご利用ありがとうございます

令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策によって休館したことにより、来館者数がやや減少した図書館・図書室もありましたが、平成31年1月に広々とした読書スペースや授乳室、小さいお子さん専用のトイレなどがある両津図書館が新たにオープンしたことにより、来館者数など増加しました。

これからも皆さんのご意見を聞きながら利用しやすい図書館・図書室を目指していきます。

		来館者数 (単位：人)		貸出冊数 (単位：冊)		貸出人数 (単位：人)	
		令和元年度	前年度からの増減	令和元年度	前年度からの増減	令和元年度	前年度からの増減
図書館	中央	57,516	△ 8,316	80,389	△ 5,249	20,906	△ 1,954
	両津	41,370	24,830	49,627	10,285	12,166	2,556
	小木	10,907	467	30,333	△ 19	6,522	△ 329
	さわた	14,159	△ 821	42,037	△ 712	9,976	△ 138
	真野	15,088	△ 1,207	24,120	△ 3,551	6,393	△ 191
図書室	相川	4,898	137	9,433	797	3,436	346
	新穂	6,468	△ 708	11,546	65	3,072	71
	畑野	2,018	325	4,633	1,832	1,385	420
	羽茂	7,784	△ 114	21,234	790	6,098	499
	赤泊	3,375	△ 211	7,453	766	2,116	160
	合計	163,583	14,382	280,805	5,004	72,070	1,440

## トビシマカンゾウはヨーラメ



ジオパーク、  
推進日記 110

市の花であるトビシマカンゾウは、佐渡と山形県の飛島、酒田海岸だけに分布する珍しい植物です。鮮やかな黄色い花は、夏の訪れを感じさせてくれると共に、多くの魚が岸辺に集まることを告げると言われています。

カンゾウが見られる海辺の地域では、この花をヨーラメと呼びます。ヨーは「魚」、ラメは「<sup>はら</sup>孕み<sup>なま</sup>」の訛った言い方で、ヨーラメの咲く5～6月は卵を孕んだ魚が磯に産卵しにきているという漁の告知花として語り継がれてきました。漁村の古老は、「ヨーラメが咲くと海が生き返る。鯛は生き返り、村にやってくる。村に豊漁をもたらす」と言います。トビシマカンゾウの群生地である大野亀は、黒い溶岩でできた佐渡で最も大きな一枚岩です。近くに寄ると大昔の火山活動の凄さ、大地を持ち上げた強大な力を感じられる場所です。



咲き誇るトビシマカンゾウと大野亀

このような大野亀に、なぜトビシマカンゾウの群落が形成されたのでしょうか？今ではあまり見られなくなりましたが、牛の放牧が大きく関係しています。牛たちはトビシマカンゾウをあまり好みませんでした。ヨーラメの群落は、黒い溶岩の大地と牛たちに食されなかったおかげで佐渡を象徴する大群生地となりました。

☎社会教育課ジオパーク推進室 ☎27-2162